

設楽ダムの建設中止を求める会

第44号 2016年12月20日

<http://www.nodam.org/>

活動報告 第10回総会以降の活動について

2016年7月23日の総会と8月21日の拡大幹事会で決められた運動方針に基づき、積極的に運動を進めてきました。そのうちの主な活動を以下に報告します。

9月27日：愛知県9月議会へ陳情書提出

10月11日：愛知県政記者倶楽部にて記者会見 国土交通省の設楽ダム基本計画変更案についての当会の見解や地質地盤問題の市民調査結果についてなど発表しました。

10月28日：設楽町長へ要請書提出（別紙）

10月31日

国交省中部地整に対して(1)設楽ダム基本計画の第1回変更の提案（建設費用2070億円から2400億円への増額、工期を2026年まで6年延長する）について、住民説明会を開くこと(2)工事を一旦中止し、活断層についての詳細な調査を実施するとともに、これまでの地質地盤調査全体を見直すことの2点を9月1日付で要請したことは前号（43号）でお知ら

せしました。ところが1カ月を過ぎても何の連絡もないことから本村衆議院議員に仲介していただき10月31日10時～11時30分、新城市杉山の設楽ダム工事事務所にて中部地整・工事事務所側の建設専門官・他1名（前向き）と会って9月1日の要請書に対する回答を受け、やり取りしました。

参加者は、当会の代表、副代表、事務局長の3名のほか、設楽町議2名、新城在住の会員2名、三遠TV、および本村衆議院議員の8名。



中部地整側は(1)の住民説明会を開くようにという要請に対しては「対応しない」。手続き通りに、愛知県知事に案を示し、県議会の同意を経て、県からの同意回答を得て、9月20日付の大臣告示で変更手続きは完了した。(2) ダム予定地および周辺の地質地盤問題については、活断層は無いと判断している。国の調査結果で問題はない。

と述べました。しかし当会が主張した地質地盤問題については上層部に伝える、と答えました。

12月4日 立ち木トラストから撤退する山から木札の撤去を行いました（写真）。7カ所で約1400人分の木札600枚を撤去しました。これらの木札は来年他のトラスト山に移設します。



東海自然歩道沿いにあるトラスト山は、清流寒狭川の本流や支流沿いにあります。（上の写真：左側は寒狭川支流の『さわらお谷』。ダムができればダム湖に沈みます。）ここにはダム建設計画が出て以来43年間手つかずの自然が生きています。この日作業終了後に地区の方と意見交換の場を持ち、今後はこの自然を生かした取り組みで交流していこう！ということになりました。

この日は田口出身の絵本作家の方が「したらのわらべ歌」を披露されるなど、和やかな歓談のひと時を過ごしました。

12月5日：

愛知県12月議会へ請願と陳情を提出しました。（別紙）

請願については共産党の下奥議員が紹介議員になってくださいました。請願審査で、特に若者の立場から賛成の討論をしました。しかし、賛成議員は下奥議員のみで不採択となりました。

陳情は、設楽ダムの連続公開講座について冊子を作成するように、とする内容で高木議員（民進）が、愛知県長良川検討委員会が作成した小冊子を紹介して設楽ダムの公開講座についても作成しないのか、と質問しました。

建設推進の愛知県から、開門調査をせよという方向に変わったこと。愛知県は過去の誤りに気が付きながらも、いつまでも、（徳山ダム、木曾川水系導水路）と無駄な事業を続けていくのですか、設楽ダムも同じことを続けているのだよ・・・ということをお8名の官僚を前に発言したのは、とても効果があったと思います。

愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会では、委員会において検討、審議した内容をとりまとめた小冊子「166キロの清流を取り戻すために～まずは長良川河口堰の「プチ開門」をしよう」を今年10月作成しました。愛知県の検討委員会が5年間積み上げてきた内容で、運用から21年、河口堰は本当に必要だったのか？塩水の遡上は科学的に説明されているのか？プチ開門は具体的にどうやって行われるのか？とてもわかりやすく解説されています。

詳しくは愛知県のホームページへ

11月12日～13日 水源連は12日に鬼怒川水害の現地視察を行い、翌13日に第23回水源連総会を開きました。当会からは代表の市野と事務局の奥宮が参加しましたが、この鬼怒川水害について12月、日弁連が調査報告書と会長声明を発表しました。ダム依存から脱却し、総合治水及び堤防の強化を求めています。

2015年9月鬼怒川水害の調査結果報告書の発表に当たり、改めて、 ダム依存から脱却し、総合治水及び堤防の強化を求める会長声明

当連合会は、茨城県常総市を中心に発生した2015年9月の鬼怒川水害（以下「本水害」という。）に関して調査を行い、本日、その結果を取りまとめた調査報告書（PDFファイル;2.66MB）を発表した。

本水害では、常総市三坂地区で鬼怒川の左岸堤防が破堤するとともに、同市若宮戸地区でも溢水が生じ、また、鬼怒川に排水される八間堀川が氾濫を起こすなどして、同市市域の約3分の1に当たる約40km²が浸水するなど、極めて甚大な被害が発生した。

当連合会は、2010年6月17日付け「ダム依存から脱却し、総合治水及び堤防の強化を求める意見書」において、総合的な治水対策の実施及び当面の対策として既存堤防の強化を提言した。本水害が同提言後の一級河川本川の破堤を伴う大規模水害であったことから、本水害の原因等について調査及び考察を行い、今後への提言を含めて、調査報告書として取りまとめた次第である。

調査の結果、鬼怒川においては、湯西川ダム建設事業に治水負担額として約1144億円もの支出を行う一方、下流の茨城県側は、既存堤防が流下能力不足等により脆弱であるにもかかわらず、堤防整備等が遅々として行われず放置された上、下流の河道負担を軽減する上流域での森林整備等の流域対策も採られず、三坂地区の破堤や若宮戸地区の溢水につながったことなどが明らかになった。また、総合治水が採り入れられず、流域の森林及び水田の貯留機能や既存河川施設の活用及び適切な避難対策やハザードマップの活用等の被害軽減方策がなされていなかったことも明らかとなった。

本年における、台風10号による降雨を原因とした岩手県での二級河川小本川の氾濫、北海道石狩川水系空知川並びに十勝川水系札内川での破堤氾濫及び台風16号による降雨を原因とした宮崎県延岡市での北川の氾濫など、水害が話題にならない年はない。毎年のように頻発する水害の被害を防止・軽減し、住民の生命・身体・生活財産を守るためには、各流域において総合治水方式へと治水対策を抜本的に見直すとともに、その実現と平行して、脆弱な既存堤防を強化し、破堤を生じないよう対策を講じることが喫緊の課題である。

本調査報告書の発表に当たり、当連合会は、改めてダム建設や堤防の改新築・河道掘削などの河道整備ではすべての洪水を河道に閉じ込めることは不可能であるとの認識をもとに、従来型の洪水対策から脱却し、流域全体で洪水を受け止めるという発想に立ってハード面・ソフト面にわたる総合的な治水対策を実施すべきこと、及び、かかる総合的な治水対策を推進しつつも、既存堤防の破堤を防止するため、速やかにその強化を求めるものである。

2016年（平成28年）12月2日
日本弁護士連合会
会長 中本 和洋



国土研が《活断層》と紹介

2016.11 国土研ニュース 474 号が「設楽ダム周辺(愛知県豊川上流・設楽町田口)で活断層

露頭出現」と題して、設楽町の地質地盤問題を次のように紹介しています。

今年の春先、設楽ダム予定地の周辺の道路建設工事時に東西方向の活断層露頭が出現しました。この第三紀層中の方向を延長するとダム貯水池と田口町がつながることになり、地下水等に影響が出る可能性があります。また、これまでの調査で、片麻岩の地盤とされていた地点が実際は第三紀層の礫岩層であったことや、ほかにもボーリング調査から同系統の東西走行の断層がダムサイト地点を貫いていることが推定されます。これまでのダム関連の地質調査は貯水池側に集中し、尾根一つ隔てた田口市街地や、山体滑りの可能性のある二重稜線地形に関する調査はなおざりになっています。今改めて、ダム周辺の精査が求められます。

として、当会が作成したパンフレット「設楽ダム予定地周辺の地質ガイドⅡ」も紹介しています。

※国土研とは／「国土問題研究会」の略。1962年に設立。設立趣旨は、科学技術者の社会的責任を自覚し、住民のための安全で住み良い地域づくり・国土づくりやそのための科学技術がどうあるべきかを調査研究のなかで具体的かつ実践的に明らかにしていくこと、と定めている。(国土研ホームページより)



●「2017 新春映画と講演の夕べ」が開催されます。主催は新城市の市民たちです。

当会と豊川流域自然学校が協力団体となっています。(チラシを同封しました。)

とき：2017年1月8日(日)

第1部 ドキュメンタリー映画「ダムネーション」を観る 18:00~19:30

第2部 講演会 こんなに危ない設楽ダム～非常に活断層の濃い地質について～19:45~8:30

ところ 新城まちなみ情報センター3階

● 設楽シンポジウム 「豊川下流の住民として設楽ダムをどう考えたらよいか」が開催されます。

2017年1月21日(土) 13:30~16:30 会場:豊橋市職員会館5階

1部 市民が検証する設楽ダム事業 講師 市野和夫 2部 パネルディスカッション

主催:東三河くらしと自治研究所 (チラシを同封しました)

振込用紙を

同封しました

7月に総会を開きましたので、今回2016年分の会費となります。本来ならば前号に同封するところでしたが、前号に同封するのを忘れてしまいました。既に今年度分を納めていただいた会員の方にも振込用紙を同封してあります。次年度分にご利用ください。年会費は1,000円です。

★元境川流域下水道計画元刈谷反対同盟のみなさまから、同盟解散にあたりその残余金を当会に寄附していただきました。同盟の皆様には深く感謝するとともに、私たちの活動が同盟の資産を受け継ぐに足るものと捉えていただいたことを光栄と受け止めております。こころより感謝申し上げ、活動費として運用させていただくことにしました。



設楽ダムの建設中止を求める会：<http://www.nodam.org/>

代表 市野和夫 ichinok7@mx3.tees.ne.jp

事務局 奥宮芳子 〒440-0069 豊橋市御園町1-3 0532-54-7305 okumiya@xj.commufa.jp